

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇PVC Award 2019 展示会を開催

## ■随想

◇古代ヤマトの遠景〔番外〕(42)【越中の櫛田神社】

木下 清隆

## ■トピックス

◇PVC Award 2019 展示会を開催

PVC Award 2019（テーマ：新しい時代を Create する PVC 製品）の展示会を2020年1月17日（金）～1月26日（日）まで10日間、[GOOD DESIGN Marunouchi](#)（東京都千代田区丸の内新国際ビル1F）で開催し、期間中約1,600名の方に来場いただきました。

今回の展示会は、発売5年以内の製品とこれから商品化を予定している製品を対象として、2019年6月1日～10月31日の公募期間に応募していただいた115点の作品の中から、受賞作品（12点）を含む一次審査で上位になった作品、及び今回審査員をお願いした外部専門家（芝浦工業大学デザイン工学部教授橋田規子氏と日刊工業新聞論説委員・編集委員山本佳世子氏）によって選ばれた作品、合計48点を展示しました。展示会場の作品配置についての監修は橋田教授にお願いしました。



GOOD DESIGN Marunouchi



展示会の説明パネル

展示作品は、PVC（塩ビ素材）の特性を活かした幅広く様々な用途の作品を陳列しました。例えば、準大賞の屋外間仕切り「スカイクリア防災 & Ziptrak®ロールスクリーンシステム」【アキレス(株)】、優秀賞の「ハイブリッド断熱サッシ PRESEA-H」【(株)LIXIL】、入賞の壁紙「Blackboard」【(株)サンゲツ】、同「球体テント」【(株)オープンエー・(有)三鷹テント】などに代表される建築分野の用途、優秀賞の作業長靴「ハイブリーダーガード HB-500」【弘進ゴム(株)】、同 作業服「タフブロード」【船橋(株)】、同 携帯照明「キャリア・ザ・サン」【ランドポート(株)】、などに代表される防災や安全・衛生分野で使用される用途、また、優秀賞の体幹トレーニング用具「TAIKAN STREAM」【(株)MTG】などの健康分野の用途、さらに、入賞のシュリンク包装フィルム「和 shu」【(株)コバヤシ・サンプルラスチック(株)】、同「美濃和紙クリアバッグ」【(株)三共】などに代表される生活用品など多岐にわたっています。

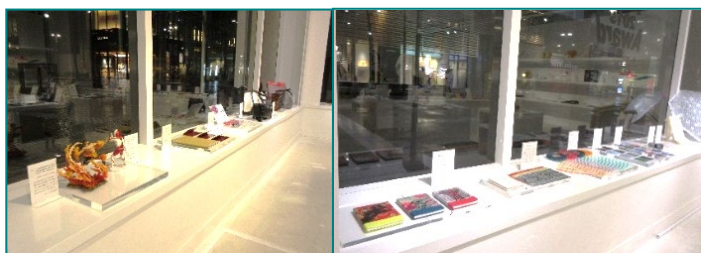


展示会場の様子

また、PVC ゲル製人工筋肉を装備した腰サポートウェア「heige LS」【AssistMotion (株)】、及び自動体外式除細動器 (AED) の補助用具「まもるまる」【大谷高校 進撃の大谷ガールズ】の作品 (いずれも審査員賞) は、医療機器分野でもユニークな用途で PVC の可能性を示唆していると思います。これらの作品に対しては、来場者から多くの質問をいただきましたが、展示会場の (公財) 日本デザイン振興会の係員の方がその都度丁寧に回答してくださり、主催事務局が不在の際にはとても助かりました。



展示会場の様子



展示会場の様子

来場された方の感想をいくつか紹介します。「PVC による素材のおもしろさが様々なところでみられた。PVC の透明感はずてきた」(デザイン関係・20 代女性)、「即売があればいいなと思うものがいくつかあった。会場の感じが良かった」(会社員・50 代女性)、「PVC は、

軽いし、丈夫で、おもしろいですね。可能性を感じました」(50 代主婦)、「ユニークなアイデアが多くおもしろかった」(会社員・男性)、「“まもるまる” が “いざ” となった時にわかりやすいのでよかった」(小学生・女子)、「塩ビという素材だけでこんなに多くの種類のものが作れるのに驚き、楽しかった」(学生・10 代女性)、「通りすがりに立ち寄ったが、PVC の様々な用途とアイデアがおもしろい」(自営業・40 代男性)、「どれも独創的で、あったらいいなと思うものばかりで、化学物質 (素材) のすばらしさを実感した」(会社員・20 代女性)。

このようにいずれも PVC 製品に高い関心をもっていただき、PVC の可能性に期待する励ましの感想をたくさんいただきました。

一方で、「楽しい企画に感謝しているが、展示会場の場所がもう少し知られているとよいと思う」(会社員・50 代男性) という意見もあり、展示会の案内やリーフレットなど PR をもっと強化すべきことなどを反省点として次回に生かしたいと思っています。

最後に、今回会場の提供などご協力をいただいた (公財) 日本デザイン振興会に心より感謝の意を表します。

お問い合わせ : [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

PVC Award 2019: [公式サイト](#)

## ■ 随想

### ◇古代ヤマトの遠景〔番外〕(42)

木下 清隆

#### 【越中の櫛田神社】

<前回とのつながり>

前回までで、神崎櫛田宮の祭神問題の検討が終わったので、今回は、越中の櫛田神社の検討を進めることにする。全国の櫛田神社は四つあると前に紹介したが、それは伊勢、博多、神崎そして今回の越中である。この神社も神崎の櫛田宮と同様の伝承が最後に出てくる。

#### 8 越中の櫛田神社

以上までに三つの櫛田神社について述べてきたので、最後に越中の櫛田神社についても触れておくことにする。ここの櫛田神社は現在の富山県射水郡にあり、高岡駅の南東七kmほどのところに鎮座する古い歴史を持つ神社である。以下は『日本の神々』北陸編(白水社、二〇〇〇)、櫛田神社の項からの引用である。

「…… 当社の歴史は古く、すでに正倉院所蔵の越中国東大寺庄園開田地図の天平宝字三年(七五九)の「砺波郡粟村官施入田地図」、神護景雲元年(七六八)の「射水郡鹿田村墾田地図」に「櫛田神田」がみえ、『三代実録』貞観十八年(八七六)条には「越中国正六位上櫛田神に従五下を授く」とあり、延喜の制では射水郡十三座のなかに加えられ、天喜元年(一〇五三)八月、越中守源頼家が催した歌合せでは夏の部の季題に選ばれて、「(左)夏くれど櫛田の社の下草はけづらぬにこそ繁くざれけり」

「(右)夏はただあくる日ごとにからくしげ櫛田の社の影ぞうれしき」と歌われている。当社に対しては武家や庶衆の信仰も厚く、近世には「櫛田大明神」と称され、明治以降は「櫛田神社」に復して明治五年に郷社、昭和十五年に県社に列せられた。(中略)祭神は建速須佐之男命と櫛名田比売命で、草創について『越之下草』は次のような素朴な口碑を伝えている。

#### 櫛田大明神 東条郷串田村

大同二年の勸請也といふ。…昔串田村と円車池村その間の谷に大きな池あり。今は円池と書く。此池に大蛇住みて、年々野人村人をとりて呑しに、…ある年、田を植る女を呑しに、女のさしたる櫛、蛇の咽にかかりて、ついに蛇もむなしくなりて、水にうかみ出けると也。里人村老四方より集まり喜ぶ事限りなし。…かの櫛と女を神にまつりて、社を建し也。…」

ここで注目されるのは、天平宝字三年(七五九)の「砺波郡粟村官施入田地図」に櫛田神社の名が既に記されていることである。八世紀中葉にその存在が確認されることから、この櫛田神社も、これまでに論じてきた内容からみて、かなり古い歴史を有する神社であるこ



射水櫛田神社

とが想定されることになる。

なお、ここの祭神が素戔鳴尊と櫛稲田姫になっている経緯について、何も記されていないが、恐らく神埼の櫛田宮と同様の経緯があったのではなかろうか。更に、ここでも蛇が出てくることは大いに注目される。

以上で博多の櫛田神社と祭神大若子命の問題については論じ終わった。次に素戔鳴尊の問題に移ることにする。

(つづく)

この「古代ヤマトの遠景」に対し、ご意見・ご感想を頂ければ幸いに存じます。>> [\(筆者\)](#)

「古代ヤマトの遠景」: [バックナンバー](#)